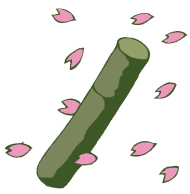




くれよん

2007年4月16日 第39号
 NPO 法人 町田市学童保育クラブの会
 所在地 町田市忠生3-12-11
 電話 042-791-2556
 広報委員会 発行
<http://www.machida-gakudou.co>



みんなおめでとう
 元気でね！

卒会式特集

新しい門出を祝って平成18年度卒会式が開かれました。
 立派に成長した子どもたちの様子をクラブごとにご紹介します。

各クラブ卒会式の様子

あおぞらクラブ -たびだちの会-



3月18日成瀬センターのホールをかりて『たびだちの会』を行いました。卒会生は16人、4年生に進級が1人。第一部の卒会式では、3年生が一番に残った事の作文を読み、指導員からは、一人ひとりの3年間の成長を詳しく書いた『卒会証書』を贈りました。第二部は、けん玉・コマ・お手玉の技発表、1・2年生による『ヨサコイソーラン』、手遊び・パネルシアター、お父さんと指導員有志による『コブクロの桜』の歌と演奏、お母さんと卒会生が中心の『ギャルサーのパラパラ』、3年生による和太鼓『ひびけみんなの心に』と、盛りだくさんでした。舞台上で輝いている3年生と参加者全員が主人公のような感動的な『たびだちの会』でした。
 来賓として谷田川理事長が来て下さいました。

保護者の感想 -卒会式に参加して- 第一部は、3年生が思い出の作文を読み、その後卒会証書を指導員の先生から手渡していただきます。先生が読んでくださった証書の内容は、やんちゃなわが子をあたかく見守ってくださった様子が伝わりました。第二部は、昔遊びあり、踊りあり、太鼓ありの学童での成果の発表でした。先生が今までの取り組みのエピソードを伝えながら、できるまで待つよという姿勢に子どもたちが応えていたのが印象的でした。今まで親子共に活動してきた学童だからこそ、わが子だけでなく、他の子どもたちの成長にも気づき、一緒に感動できる会になるのでしょうか。涙、涙の卒会式でした。

あおぞらクラブ 保護者 梅本睦美

おおくらクラブ



大蔵クラブは、25日に卒会式を行いました。卒会生の保護者、在籍児、退職された先生方、来賓の方々の手拍りで、コサージュを胸に晴れやかな顔の卒会生21人が入場（2人欠席）緊張しながら来賓の挨拶を聞いている横顔がもう立派な4年生でした。式は証書授与に続き1年生は手作りネームプレートを、2年生はポンポン付きクッションを保護者会からはマーガレットの鉢植えをプレゼントされしんみりしたところで雰囲気さがらっと変り卒会生がエンターティナー合奏、指導員はコナンを演奏、保護者は「アゲアゲ」を歌い踊り会場総立ちで大興奮！みんなが一つになったところで大蔵のテーマソング「大きな歌」を熱唱。「大きな俺達さ、雨風ふこうと恐れはしない大きな俺達さ！」ガンバレ23人の仲間たち！！

保護者の感想 -卒会式に参加して- うちの子には兄弟がいませんので、今回が最初で最後の卒会式でした。「思い出になる卒会式にしたいなあ」と、考えていたのは私のみならず、たくさんの父母の方々も積極的に準備に関わって下さいました。それまで会話した事なかった父母の方とも会話が出来、楽しかったです。卒会式当日も殆どの卒会生の母親がダンスに参加下さり、内緒で大爆笑を企てていた父親組に、子どもたちはワー！キャー！の大ウケ・大騒ぎで楽しく催し物が終わりました。私達、母親達の踊りはあまり見てはもらえてなかった？かも知れませんが…、ばっちりビデオに残っている筈、それを見ては又家族の会話が楽しいものとなる事でしょう。3年生を見送りに来てくれた1・2年生の子どもたち、大蔵学童の先生方ありがとうございました。本当にお世話になりました。

おおくらクラブ 保護者 西岡美佐子

そよかぜクラブ -春をよぶ会-



3月18日、そよかぜの子どもたちと家族の皆さんがそよかぜクラブに集まり、「春をよぶ会」を開きました。今年は、まず1・2年生のうで自慢発表から。一人ひとりお手玉、けん玉、コマの技を緊張しながら披露する姿に、改めて成長を感じるひと時です。さらに名人の技のすごさに感心した後は、恒例の3・6年生による和太鼓演奏。今年の卒会生は10人と少ない上に、全員そろったのが本番のみでしたが、力強い太鼓の音と真剣な姿は、やはり成長と卒会をしみじみ感じさせるものでした。そして、指導員による卒会生へのメッセージで、卒会生のこれまでを振り返り、在籍メンバーの未来を思い・・・時に保護者の皆さんは涙。その後、おなかいっぱいオープンサンドを食べ、「たまごとり」とドッジボールをみんなで楽しみました。

保護者の感想

-卒会式に参加して- 前半は大声援の中、子どもたちの「うで自慢」の発表、後半は卒会生による勇壮な八丈太鼓の披露と、先生から卒会生一人ひとりへ心温まるメッセージの朗読がありました。真剣な面持ちで太鼓をたたく娘の姿に3年間の成長を喜びつつも、先生からの贈る言葉にいろいろな思い出がよみがえり、学童を離れる寂しさも・・・。一輪車、けん玉、いろいろな外遊び、夏のキャンプ、秋のお祭り、そして学年を越えた集団生活・・・思い返せばその一つひとつが娘に豊かな放課後と大きな成長を与えてくれました。学童の前を流れる恩田川の桜の開花は間に合いませんでしたが、そのつぼみのように、娘の中にも新しい春への準備が整っていることを願いました。

そよかぜクラブ 保護者 あとまま

たけの子クラブ -すみれの会-



3月17・18日 大地沢青少年センターにて 卒所生17名

すみれの会というたけの子クラブの卒所式は3・6年生だけのものではなく1・2年生の進級を祝う会でもあるので今年も2日ばかりで盛り上がりました。昼レクは親子で大地沢の山でのオリエンテーリング。夜レクはスプーンリレー等の楽しいゲーム大会。夕食はプロの調理人のお父さんを中心に、美味しい中華料理を作ってください、朝食には焼きたてのパン。子どもたちは1日目にエネルギーギッシュな活動をし、2日目は発表です。緊張した面持ちで紙芝居を読む1年生、とにかく劇を楽しんだ2年生、難しいハンドベルに自分たちから挑戦した3年生。みんな輝いていました。意欲的に発表する子どもたちに改めて成長を感じました。

保護者の感想

-卒所式に参加して- たけの子クラブの卒所式は泊まりがけで、とてもハードです。お昼過ぎに大地沢に集まり、班に分かれてオリエンテーリング。「簡単なコースだから」と言われて子どもたちについて行くと、彼らは何も考えずに走り出して・・・「こっち曲がるんだよ」と叫んでも全然止まらない。やっと止まって地図を見て「今どこ？」と皆で考えると、オリエンテーリングらしくなってきました。運動能力に大きな差がある1～3年生、まとめるのは大変です。翌日はメインの卒所・進級式。子どもたちが学年ごとに紙芝居やハンドベルを披露してくれた後に、指導員の先生が、卒所生一人ひとりに、それぞれへのコメントを読みながら文集とアルバムを手渡してくれました。このときの和やかな雰囲気は忘れることが出来ません。

たけの子クラブ 保護者 佐藤英一

どろん子クラブ



3月18日にどろん子クラブ内にて卒会式を行いました。卒会生は15名、卒会生からは保護者・指導員にむけ和太鼓、そしてキャンプやクラブ外保育、おまつりなどの様子を描いた卒会生手作りの紙芝居『どろん子クラブの一年間』の披露。保護者からは涙ながらの一言と記念樹をいただきました。とても立派な“おかめざくら”です。指導員からは、ボディパーカッション、卒会生の顔写真を貼り付けたペープサート劇、2年間の写真を使ってのスライドショーを行いました。卒会生とその保護者、指導員での少人数での卒会式でしたが、笑いあり、涙ありで、とても和やかな雰囲気の中すすめられました。

保護者の感想

-卒会式に参加して- 桜の満開宣言が出されましたが、冬に逆もどりしたかのような寒い中の卒会式となりました。紙芝居では子どもたちそれぞれが印象に残っていることを絵に描きそこに文章をつけて読んでいました。個性がでて楽しいものでした。特におどろいたのは、卒会証書入り手作りアルバムと和太鼓演奏。アルバムを開けてみると写真には1枚ずつコメントが書かれ、きれいに折り紙の切り抜きが飾ってあり、指導員の方々の作業の様子が目に浮かんでくるようでした。そして、和太鼓演奏。なかなか全員そろって練習できなかったとの事でしたが、本番では子どもたちの息もピッタリ合っただけでなく、体がそくそくする程の素晴らしい演奏でした。巣立って行く子どもたちの背中をポンと押してもらったようなそんな式でもありました。指導員の方々、本当に心のこもった温かい式をありがとうございました。

どろんこ 保護者 義見慶子

なかよしクラブ



3月21日 第2なかよしクラブにて 卒会生26名

「いっぱいみんなにやさしくしてくれた そんなあなたが大好きです」思い出がいっぱい詰まったアルバムを26名(当日参加22名)の3年生にプレゼントしたときの指導員の声かけです。涙がいっぱい流れました。思い出の言葉、1・2年生の送る言葉、指導員のハンドベル・・・厳粛な式の後には検定名人の技の披露です。コマ・けん玉をやる子どもたちはいっぱいのお客さんにドキドキ、『いつもは一発で決まるのに・・・』。女子主体のお手玉、さすが肝が座っています、『上手!』。合同練習がなかなかできず、当日早朝練習でのぞんだ「ぶちあわせ」と「うすすみ」の3年生和太鼓、バッチリ決めました。最後は退職・異動する指導員へ花束贈呈。やっぱり最後も涙の卒会式でした。

保護者の感想 -卒会式に参加して- 3月21日なかよしクラブの卒会式が、先生・保護者の見守るなか行われました。3年生で卒業を経験するという事はまずない事です。黙って座ってられるか、そんなことばかり気にしていました。でも子どもたちは親の気持ちとは裏腹に、普段と変わらない姿を見せてくれました。胸を張って立派に式に臨んでいる姿をみて、子どもたちの成長を実感しました。卒会式では、先生が一人ひとりの子どもに温かい言葉をかけてくれました。その言葉を聞かたびに涙が止まりませんでした。そして気がつきました。学童が子どもたちにとって「家庭・家族」だったのだと。なかよしクラブに入れて良かった。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

なかよしクラブ 保護者 杉山香織

わんぱくクラブ



頼れる班長さん、あそびの名人、優しいお姉さん、憧れのお兄さん・・・今年1年最上級生としてわんぱくクラブを引っ張ってきた26名の3年生が、卒会を迎えました。今年は人数が多く、和太鼓も、全員揃っての練習は1度もできませんでしたが、この3年間でたくさんの力を蓄えてきた3年生。卒会式当日は、カー杯感動的な演奏をしてくれました。2年生からは、「来年はぼくも和太鼓をかっこよくたたかそう!」という声も聞こえてきました。一人ひとり読んだ思い出の作文も、みんなの涙を誘うものでした。1・2年生からの言葉と歌も、3年生たちの心に届いたようです。第2部では、あそびの発表をしました。けん玉、お手玉、コマ、一輪車パレード、1年生から3年生まで、楽しみながら、自分たちの自慢の技を披露しました。

保護者の感想 -卒会式に参加して- 早いもので、学童3年間の大きな区切りとなる卒会式を3月18日に迎えました。子どもと一緒に入場し、子どもも親も思い出やメッセージを読み上げました。みんなみんな知っている子たち、そして親同士も様々な活動を通して大切な時間を共に過ごした友達です。一人ひとりの様々な思いを聞きながら、感慨深く3年間を思い出していました。グループ活動や行事の企画、伝承遊びなど・・・子どもたちは本当に貴重な経験をさせていただきました。多くの方々にお世話になり、幅広い人間関係を築けた3年間は、私達家族にとって大切な宝物です。皆さんの思いのこもったとてもすてきな卒会式でした。3年間本当にありがとうございました。

わんぱくクラブ 保護者 森田佳仁

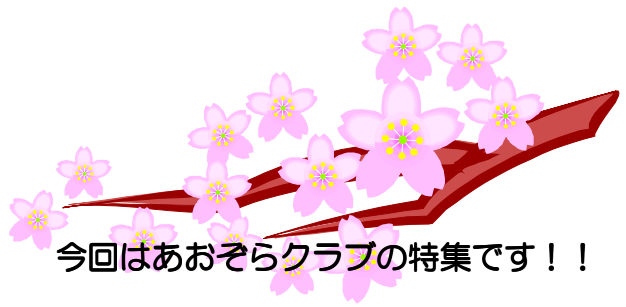
事務局コーナー -事業計画のご紹介-

新年度となり、当法人の設立より5年目を迎えました。設立より学童保育事業を中心とした事業運営を行ってききましたが、どろん子クラブの開設、指定管理者制度への移行など、様々な動きがありました。先日、3月24日に第19回理事会を行い、07年度の事業計画および予算を決定しました。事業計画の主な点をご紹介します。07年度はどろん子学童保育クラブの指定管理者再選定が行われます。法人事務局、どろん子職員ともに再選定において指定管理者として引き続き運営が継続できるよう、努力をしております。また、たけの子クラブは08年度に相原子どもセンターの開設にともない、移転し公立クラブとなります。今後、指定管理者として市と協議を行う予定です。07年度より、乳幼児とその保護者を対象とした子育て支援事業「ぶちくれよん広場」を実施する予定です。どろん子クラブ、第二なかよしクラブの2ヶ所を午前中のみ施設開放し、地域の子育て支援に貢献したいと考えています。また、子ども家庭支援センターを中心としたネットワーク連絡会に各クラブ職員が参加し、児童虐待防止のための連携をとっていきます。さらに今後、学童保育事業を中心としながらも、学童保育事業以外の子育て支援事業の展開することを想定し、調査研究委員会等での検討を行う予定です。

事業計画の詳細は、6月の定期総会に向けた議案書にて提案いたします。今後とも会員のみなさんのご意見が反映される法人運営をめざしてまいります。

ちよつと拝見

♪あおぞらクラブお茶会♪



今回はあおぞらクラブの特集です！！

3月9日、かえで文庫の方の協力をえて初めて、お茶会を開きました。

いつもの学習室が、棚に布をかけ、お花を活け、壁には、掛け軸までお借りして、『なんちゃってお茶室』に大変身。

子どもたちを約10人ずつのグループに分け、まず、お茶室に入る時に正座をして「失礼します」と挨拶をし、手は『ぐー』のまま、にじり入るところからやりました。

そして、着物をきた文庫の方と「よろしくお願いします」の挨拶をしてから始めました。いつもはじっとしてられない子どもたちも、今日は神妙な顔つきで頑張ってお茶を飲んでいました。「足が・・・しびれちゃう・・・」というつぶやきも出ていましたが、懐紙の上のお饅頭を頂く頃は、「あっ、白いあんこだ」「桜の花も食べられるの?」とちょっとうれしそうでした。

そして、1人ずつお抹茶を点ていただき、大きめの素敵なお茶碗を両手でそお〜とまわして飲みました。子どもたち向けに薄めにしていただいたのでほとんどの子が「おいしい!」「ちょっと、苦いけど飲めたよ!」「おかわりしたかった〜」というほど、みんなでおいしくいただきました。簡単なお作法も教えていただき、みんなちょっとかしこまって、心が落ち着くひと時を過ごしました。

とても好評だったので、これからも、続けていけたらと思っています。



< 子どもたちの感想 >

- ・苦かったけど、おいしかった。
- ・熱かった〜足がしびれた〜苦かった〜。
- ・すごくおいしかった、おまんじゅうも。
- ・初めてでドキドキしたけど、楽しかった。

< 初めてのお茶会 >

今年は、かえで文庫の新年に、かるた会とお茶会をしました。子どもたちの緊張した様子がとても新鮮で、先生から、学童でもお茶を点ててほしいというお話がありました。

いつもの文庫のおばさんたち3人が、少し改まって、お茶を点てました。みんなも少し改まって、正座をし、おじぎをし・・・子どもたちもそれなりに楽しんでいました。

これからも、お茶の楽しさや清々しさを少しでも伝えられたらと思っています。

(かえで文庫 太田 晶子)

今後の予定

4月29日(日)	13:30~	第20回 理事会	文学館ことばランド
5月 2日(水)	20:00~	広報委員会(くれよん担当)	公民館学習室1
5月 9日(水)	19:00~	広報委員会(ホームページ担当)	なかよし第2
5月11日(金)	19:30~	調査・研究委員会	公民館視聴覚室
5月12日(土)	19:30~	事務局会議	公民館学習室7
5月20日(日)	10:00~	第21回 理事会	公民館
5月25日(金)	19:30~	運営委員会	公民館視聴覚室



~編集後記~

『卒会式』、『送別会』、『花粉』、なみだ と はなみず の絶えないひと月でした。(+_q)グスン(北村 なかよし保護者)さまさまの思いの詰まった卒会式、感動しました。そして私もこの春、指導員を卒会します。私は、学童の子ども達が大好きです!! お世話になった方々に深くお礼申し上げます。ありがとうございました。(西尾 なかよし指導員)『くれよん』は保護者と指導員で構成された広報委員会が毎月発行しています。バックナンバーの一部はホームページでご覧いただけます。

<http://www.machida-gakudou.com>